

表 進捗状況の概要（2024 年度実績）

業界団体	目標						実績				主体間連携の強化 (低炭素・脱炭素の製品・サービスの普及や従業員に対する啓発等を通じた取組みの内容、2030年時点の削減ポテンシャル)	国際貢献の推進 (省エネ技術・脱炭素技術の海外普及等を通じた2030年時点の取組み内容、海外での削減ポテンシャル)	2050年カーボンニュートラルに向けた革新的技術の開発 (含トランジション技術)	
	目標指標	基準年度/BAU	削減目標・2030年度目標	目標の設定時期	2030年度目標が達成された際の2013年比排出削減率	今年度の見直し今後の見直し	2024年度実績	進捗率	CO2排出量 2024年度実績 (万t-CO2)	2013年度比排出量削減率				
日本新聞協会	エネルギー原単位	2013年度	年平均▲1%	2016年12月	排出量目標未記入			▲4.0%	年平均削減率を目標に設定しているため進捗率は算出できない。	25.69	▲52.2%	リストアップ	-	リストアップ
全国産業資源循環連 合会	CO2排出量 (非エネルギー起源)	2013年度	▲15%	2024年5月	▲15%			+3.9%	▲26.1%	331.4	+3.9%	リストアップ	-	-
全国ベ ット協 会	CO2排出量原 単位	2012年度	基準年 (2012年度) と比較して 同水準以下 ±0%	2015年7月	排出量目標 未記入			▲16.7%	116.7%	0.570	▲23.9%	-	-	-

※ 表中の記載について

- 2024 年度実績について、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAU からの削減目標を掲げた業種は BAU からの削減量を、年平均の目標を掲げた業種は年平均の削減率をそれぞれ記載。
- 基準年度目標の「進捗率」は、目標水準と比較した 2024 年度実績値の比率。  

$$\text{進捗率} = (\text{基準年度の実績値} - \text{当年度の実績値}) / (\text{基準年度の実績値} - \text{2024 年度の目標値}) \times 100 (\%)$$
(全国産業資源循環連合会)  

$$\text{進捗率} = (1 + (\text{基準年度の実績値} - \text{当年度の実績値}) / (\text{基準年度の実績値})) \times 100 (\%)$$
(全国ベ  
ット協  
会)
- BAU 目標の「進捗率」は、目標値と比較した 2024 年度実績値の比率。進捗率【BAU 目標】 = (当年度の BAU - 当年度の績値) / (2030 年度の目標値) × 100 (%)
- 「CO2 排出量」は調整後排出係数を用いた。
- 主体間連携の強化は、リストアップ、定量化、-と表記。
- 国際貢献の推進は、リストアップ、定量化、-と表記。
- 2050 年カーボンニュートラルに向けた革新的技術の開発は、リストアップ、定量化、-と表記。
- 2013 年度比排出量削減率は、業界ごとに状況が異なるため、単純比較は困難であることに留意。各業界の詳細は、フォローアップ調査票を参照。